

【シラバス作成の注意点】 2026 Ver. 3

ナンバリング		授業科目名 (科目の英文名)					区分・【新主題】 / (分野)							
AA42G113		創造的思考法 (Creative Thinking Skills)					全学共通主題 * 大分を創る科目 【福祉・地域】 / (総合)							
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語				担当形態			
選択	2	1・2・3・4	教・経・医・理工・福	前学期	水 1	日本語					単独			
担当教員	氏名 大分 太郎													
	E-mail aaaaa@oita-u.ac.jp 内線 0000													
授業の概要	<p>情報を整理・視覚化し、新たな発想を生み出すための手法について学ぶ。これらは、自由記述式の質問紙法、口頭による自由回答法の回答の分析をはじめ、企画、会議、プレゼン、人材育成、情報収集と分析などの場面で対応できる。大分の地域活性化に関するテーマでアイデアを出し、グループによるブレインストーミングを経て、創造的思考ができるようになることをめざす。</p> <p>【全角 383 (半角 766) 字以内 (改行は全角 1 文字)】</p>													
具体的な到達目標							DP 等の対応(別表参照)							
目標 1	アイデアや情報を整理・視覚化したマインドマップを作成できる。【1つの目標につき全角 58 (半角 116) 字以内】					1	2	3	4	5	6	7		
目標 2	ブレインストーミングの意義や効果的な実施方法を踏まえ、多様なアイデアを創出できる。							○						
目標 3	親和図法A型図解法を用いて断片情報を階層的にまとめ、関係性を可視化して整理・視覚化する。							○						
目標 4	大分の地域活性化を題材とした親和図法A型図解法をもとに文章化できる。							○			○			
目標 5														
目標 6														
目標 7														
目標 8														
目標 9														
目標 10														
各DPへの関連度(計10)						3	6		1					
授業の内容														
1	【ブロック1】オリエンテーション、マインドマップ練習: 「しあわせ」マインドマップを作成する。【1回につき全角 74 (半角 148) 字以内】													
2	マインドマップとは、Xmindの使い方: Xmindで「しあわせ」マインドマップを作成する。													
3	自己分析マインドマップの作成: 自分自身についてのマインドマップを作成する。													
4	読書マインドマップの作成: 1冊の本からマインドマップを作成する。マインドマップのまとめ【課題1】													
5	【ブロック2】アイスブレイク、マシュマロチャレンジ: グループでマシュマロチャレンジをする。													
6	ブレインストーミングとは: 順番ブレインストーミングの練習をする。【課題2】													
7	大分の地域活性化に関するブレインストーミング: グループで順番ブレインストーミングをする。【課題3】													
8	【ブロック3】親和図法一紙切れ作り・紙切れ集め・表紙づくり: ブレインストーミングの結果を紙切れにまとめる。													
9	親和図法A型図解法-グループのグループ化・空間配置: A型図解法の空間配置をする。													
10	親和図法A型図解法-関係線の描画: A型図解法を完成させる。【課題4】													
11	親和図法B型文章化: B型文章化で発想する。【課題5】													
12	【ブロック4】親和図法(2)-A型図解法: 大分の活性化に関するブレインストーミングの結果をA型図解法で整理・視覚化する。													
13	親和図法(2)-A型図解法(2): A型図解法を完成させる。【課題6】													
14	親和図法(2)-B型文章化: B型文章化で発想する。【課題7】													
15	総まとめと最終課題【課題8】													
ラ	A:知識の定着・確認	○	演習、小テスト、ループリックによる自己評価、											
イ	B:意見の表現 交換	○	グループ・ペアでの共同作業、省察ミニッツペーパー、マインドマップ、											
ウ	C:応用志向		ブレインストーミング、KJ法											
エ	D:知識の活用・創造		【全角 125 (半角 250) 字以内 (改行は全角 1 文字)】											
授業時間外学修の内容と時間の目安	<p>準備学修: 配布資料や参考文献等の情報を必要に応じて予習する(5h)。ブレインストーミングの準備をする(4h)。【全角 140 (半角 280) 字以内 (改行は全角 1 文字)】</p> <p>事後学修: 授業で学習を活かし、課題の完成度を高める(マインドマップの課題(14h)、親和図法A型図解法(25h)、親和図法B型文章化(12h))。小テストや配布資料を用いて復習する(8h)。【全角 140 (半角 280) 字以内 (改行は全角 1 文字)】</p> <p>※ 時間を実時間(60分=1時間)に見直しています。</p> <p>45(時間)×単位数 - $\frac{1 \text{ コマの授業時間(分)} \times \text{授業回数}}{60}$</p> <p>※ 端数は切り上げる</p> <p>【全角 110 (半角 220) 字以内 (改行は全角 1 文字)】</p>													
教科書	教科書は指定しない。授業中に配布するプリントや小冊子を使用する。【全角 216 (半角 432) 字以内 (改行は全角 1 文字)】													
参考書	川喜多二郎『続・発想法』中公新書、1970年、ISBN9784121002105 トニーザン・バリーザン(著)、近田美季子(翻訳)『新版・マインドマップ-脳の無限の可能性を引き出す技術』ダイヤモンド社、2013年、ISBN9784478017166 【全角 216 (半角 432) 字以内 (改行は全角 1 文字)】													
評価方法						割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8
マインドマップ【課題1】	【1つの「評価方法」につき全角 42 (半角 84) 字以内】					25%	○							
小テスト						5%		○	○					
ブレインストーミング結果【課題2・3】						10%		○						
親和図法A型図解法【課題4・6】						30%			○					
親和図法B型文章化【課題5・7】						20%				○				
最終課題【課題8】						10%	○	○	○	○				
すべての小テストおよび課題の合格を単位取得の条件とする。【全角 150 (半角 300) 字以内 (改行は全角 1 文字)】														

【必須】「作成の手引き」→pp. 2-3
主に使用する言語、その他に使用する言語、担当形態を選択

【必須】「作成の手引き」→pp. 4-8
到達目標ごとに最も当てはまる DP を 1 つ必ず選択 (※DP 項目は次頁参照)

【必須】「作成の手引き」→p. 6
科目全体を 10 とし、対応する各 DP に 1 から 10 までの整数で重みを割り当て

【必須】「作成の手引き」→p. 9
期末試験を除く 15 回 (もしくは 30 回) 分の授業内容について必ず記入

【必須】「作成の手引き」→pp. 13-15
準備学修と事後学修の具体的な内容と丸括弧内に時間外学修に要する目安の時間数を記入、想定時間の合計を整数のみ (単位: 時間) で記入 (例: 「講義及び演習」2 単位 (90 分×15 回) の場合「68」以上、1 単位 (90 分×8 回) の場合「33」以上)
※ 時間を実時間(60分=1時間)に見直しています。

1 コマの授業時間(分) × 授業回数
45(時間) × 単位数 - $\frac{1 \text{ コマの授業時間(分)} \times \text{授業回数}}{60}$
※ 端数は切り上げる

教科書、参考書の書籍には ISBN を記入

【必須】「作成の手引き」→p. 16
評価方法について、割合及び「具体的な到達目標」との対応について必ず選択
※「出席点」は記載しない

注意事項	「情報処理入門」を履修済みか履修中であること。生成AIの利用は、アイデア出し・情報整理・文章構成の検討に限り認める。AI生成コンテンツの転載することは禁止する。課題提出時には、生成AIを使用した箇所および入力したプロンプトを明記する。 【全角 144 (半角 288) 字以内 (改行は全角 1 文字)】		履修制限や履修条件がある場合は必ず記入
備考	コンピュータ教室を使用するため、履修希望者が教室の収容人数を超える場合には抽選を実施する。 【全角 144 (半角 288) 字以内 (改行は全角 1 文字)】		
リンク	授業についての詳細な内容については、以下のページを参照すること。 【全角 72 (半角 144) 字以内】 URL https://sample.oita-u.ac.jp/course/20xx/cts/ 【半角 270 字以内】		
担当教員の実務経験の有無	<input type="radio"/>	<div>「作成の手引き」→pp. 18-19</div> <div>担当教員に実務経験がある場合、○ (チェック)の上、内容を記入してください。</div>	
教員の实務経験	【全角 72 (半角 144) 字以内 (改行は全角 1 文字)】		
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	<input type="radio"/>		
教員以外の指導に関わる実務経験者	【全角 72 (半角 144) 字以内 (改行は全角 1 文字)】		
実務経験をいかした教育内容	【全角 216 (半角 432) 字以内 (改行は全角 1 文字)】		

ゲストスピーカーや実習先の指導者等、担当教員以外で学生の指導に関わる方に実務経験がある場合の記入欄です。下には、その方の実務経験の内容を記入してください。

以上いずれかに○ (チェック)をした場合、実務経験のある担当教員や担当教員以外で学生の指導に関わる実務経験者の実務経験をいかした教育内容について記入してください。

※ 文字列入力欄には文字数制限が設定されています。文字数が超過している場合、超過分は表示されませんので、ご注意ください。

※ 「具体的な到達目標」については、以下に示す DP のうちから 1 つ必ず選択してください。

DP	学部共通	大学院共通
DP1	専門的知識・技能の活用 (Application of Expert Knowledge and Skills) 専門分野に関する基礎的な知識や技能を横断的・総合的に活用することができる。	高度な知識と知的能力 高度な知識、知的能力及び技術を活用し、自立した研究活動ができる。 キーワード: 【知識基盤】専門分野の知識、研究方法、情報探索、情報管理、【認知的能力】分析能力、批判的思考、問題解決能力、【創造性】探究心、イノベーション
DP2	コミュニケーション能力 (Written and Oral Communication Skills) 日本語や外国語を用いて、自らの意見を文章および口頭で論理的に表現できるとともに、他者の意見を傾聴することによって、多様な人たちと円滑に相互理解を図ることができる。	確かな研究マネジメント能力 専門家として、研究倫理を遵守しつつ、研究を計画し、適切に管理・遂行できる。 キーワード: 【研究マネジメント】研究計画と遂行、【専門家としての行動】倫理、知的財産権と著作権、他者への配慮と守秘義務、引用と共同執筆のルール
DP3	創造的問題解決力 (Creative Problem Solving Skills) 個人または他者との協働で、課題を発見し、批判的思考法を用いた創造的解決策の提案、解決への取り組みを行うことができる。	社会を牽引する能力 協働プロジェクトの運営管理や研究成果の発信により、地域と国際社会の発展に貢献できる。 キーワード: 【他との協働】チームワーク、リーダーシップ、ダイバーシティ、【コミュニケーションと普及】、【エンゲージメントとインパクト】
DP4	社会的責務と倫理 (Social Responsibility and Ethical Reasoning) 社会のルールや規範に則り、自らの良心と良識に従って行動することができる。	N/A
DP5	地域発展・人類福祉への貢献 (Contribution to Regional Development and Human Welfare) インクルーシブな視点を持ち、多様な文化・価値観を尊重しつつ、社会における自己の責任と使命を認識して、地域の発展と人類福祉の向上のために行動することができる。	N/A
DP6	生涯学習力 (Lifelong Learning Skills) 学ぶべき内容を自ら把握して目標を設定し、高い学習意欲と探究心を持って主体的に学修することができる。	N/A
DP7	N/A ※医学部看護学科専門教育科目 (2025 年度まで) 豊かな看護観	N/A